



## 巡礼その二十六 インド8 石窟めぐり

2006年4月29日

6時30分起床、7時30分タクシーで渋谷駅新南口へ行く。ベッカーズでコーヒーを飲み、成田エクスプレスで第2ターミナルへ。大混雑である。何とかボーディングパスをもらい朝食、きつねうどん、妻は狸そばを食べる。さっきまで長蛇の列であった出国審査はがらがらである。さくらラウンジでコーヒーを飲む。今回はボンベイまでであるから12時間もかかる。搭乗し鰯の幽庵焼きを食べる。映画はメルブルックスの「プロデューサー」を見る。とても面白い。その後インド映画を一本見て軽食、マンゴー、クリームチーズサンド、が結構美味しい。やっと7時間でバンコクに到着。ここで一時間待たされ、離陸すると食事と軽食が出て4時間でデリーに着く。デリーで1時間待たされた食事が出て、なんと1時間半遅れてボンベイに着く。結局16時間もかかってしまった。空港でガイドのモヒと会いKUMARIA PRESIDENCYにチェックインする。ホテルの前は工事でドロドロ、部屋の電球は切れていて、洗面所の水が流れない。最悪のホテルだが空港に近いため3時間は寝られる。

4月30日

5時起床、シャワーを浴びて5時50分に朝食、コーンフレイク、コーヒー、マンゴージュース、6時出発。国内線に行くがすごい混雑である。JET AIRWAYSのスチュワーデスはとても綺麗で離着陸時に通路の一番前にこちら向きで座るので見えそうで見えない。従って男はみんな通路側に顔を出している。モヒもうれしそうである。飛行機は2+2席のプロペラ機で1時間でAURANGABADに着く。現地ガイドのシェイクとエローラの前にあるHOTEL KAILASにチェックイン。とても清潔なコテッジで庭の前はエローラである。すぐに出発しCAVE1から順番に見て行く。たまらない暑さで、前日

16時間も機内にいて、2時間しかねていないのでくらくらする。前半は仏教窟で、後半はヒンドゥー教窟、ジャイナ教窟があり、すべて8世紀以前なので彫刻がとてもおおらかで迫力がある。あまり観光客は見当たらないが 16 窟のカイラーサナータ寺院はとても観光客が多い。外人は少なくほとんどインド人である。こんな巨大な寺院を岩の固まりから削り出したことに脅威を感じる。インド人のエネルギーに脱帽である。寺院全体を見るために裏山に登るが絶壁で足が震える。とても広く見る所が沢山あり、疲れてへろへろになる。その後 29 窟まで来てここから山の方に登りガネーシャレナへ行く。雨期には川になるであろう水たまりの両脇に窟が彫ってありとても良い雰囲気である。戻って 29 窟を見る。彫刻が素晴らしい、エレファンタ島にとても良く似ている。最後にジャイナ教窟を見学する。ここも彫刻が素晴らしい。ホテルに戻り昼食、皆でターリーを食べる。疲れてあまり食欲が無かったが水はよく飲んだ。これからの予定を打ち合わせして部屋に戻ったら3時 30 分であった。今日の予定は終了でシャワーを浴びて、ポーチでエローラを見ながら冷えたビールとリム力を飲む。7 時にレストランへ行き、焼きそばと、チキンのガーリック炒め、ホウレン草のスープを飲む。コーヒーを頼んだらカプチーノが出てきて驚いたが、ミルクの上にインスタントコーヒーの粉が乗っているだけであった。

## 5月1日

5時起床、昨日予約しておいたオートリキシャで、もう一度エローラへ行く。まず仏教窟から見て行き、見落としたマヒシャスラマルディニーとガネーシャの彫刻を見つける。その後ヒンドゥー窟を見学し 29 窟にオートリキシャを待たせておいたのでホテルへ戻る。8時朝食、オレンジジュース、コーンフレイク、フライドエッグ、コーヒーを飲み、8時 30 分 PITALKHORA へ出発。1 時間位すると急に道が悪くなりやがて行き止まりになる。ここで車を降りて谷底に向かって降りて行く。今は乾期なので水がない。観光客は誰もいない。ここに石窟があり、列柱に壁画が残っている。石窟の前にはゾウ、ドゥバラバラ、ガナ、ペガサスなどの彫刻も残っている。車まで戻るのが大変である。途中の町でチャイを飲みミネラルウォーターを買って魔法瓶に入っていた人ばかりが出来た。DAURATABAD は有名な砦であるがまた登らなければならぬ。あまり興味は無いが一応観光する。ヘとヘとなり、露店で売っていたキュウリを食べる。太ったキュウリを塩と唐辛子で食べる。これが絶品でリム力を飲んで出発。町へ戻りお昼はラジャスタンレストランでターリーを食べる。

人気店でとても混んでいる。大変美味しい。ターバンを巻いた沢山のウェイターがいろいろなカレー やライス、漬け物、チャパティ、デザートを配ってまわる。妻はチャパティを 5 枚食べた。午後は町のはずれの山の中腹にある AURANGABAD CAVE へ行く。あまり期待していなかったが予想以上に素晴らしい。特に女性像がよい。ここにも観光客はこない。BIBI-KA-MAQBARA へ行く。小さいタージマハルと言われているが安っぽい。大勢の家族連れが楽しんでいる。妻がお土産屋でショールを買う。前でスイカを売っていたので皆で食べる。約 2 時間でアジャンタにある州立のロッジに着く。悪くはないがサービスが悪い。レストランでチキンを頼むが今は危ないので（鳥インフルエンザ？）ない。ウェイターがベジタブルチャーハンを勧めるので、それと野菜カレー、トマトスープを頼む。チャーハンは絶品であったが、スープはこれ以上薄く出来ないような代物であった。

5月2日

6時起床、7 時 30 分朝食、野菜の炊き込みご飯、トースト、マンゴージュース、コーヒーを飲む。アジャンタは 9 時からなので 8 時 30 分出発。駐車場でシャトルバス（電気バス）に乗って入り口まで行く。階段を登って第 1 窟から見る。壁画が素晴らしい。LED で照明されているが暗くてよく写せない。さすがに観光客が多く、日本人も結構いる。やはりチャイティヤ窟はすごい。特に古いチャイティヤ窟は荘厳な緊張感がある。彫刻も古いものの方が良い。柱の彫刻も注目である。1 時にシャトルバスで駐車場に戻り、リム力を一気飲みする。昼食は食べる所がないのでホテルに戻り、あるものはヴェジチャーハンしかないのでまたそれを食べる。ここでガイドのシェイクさんとお別れする。とても良く説明してくれた。夜に日本人の団体が到着するのでそのガイドをするとのこと。AURANGABAD に帰る途中アジャンタが鳥瞰できる場所があるので写真を撮る。この場所からアジャンタが発見されたそうだ。町でチャイを飲み、今回の旅行で一番の高級ホテル TAJ RESIDENCY にチェックインする。入り口にドアーマンがいる。宿泊客は少ない。すぐにプールに行って泳ぎスイカジュースを飲む。6 時 30 分にレストランに行くがメニューが少ない。変だと思ったらディナーは 7 時からだそうで少し待ってくださいと言われサービスでパパットが出てきた。マッシュルームとパンネのサラダ、ラムのミントソース、妻はチキンのペッパー ソース、オニオングラタン、デザートはフルーツにアイスクリームが乗ったもので 1200 ルピーであった。

## 5月3日

6時起床、7時朝食、フルーツ、スイカのジュース、マサラオムレツ、トースト、コーヒー、7時30分空港へ。一時間でムンバイに着く。すごい渋滞の中 KANHERI に行く。とても大きな自然公園の中にあり、入場料を払って、車で15分ほど行ったジャングルの中にある。109の窟があり岩山の上からはボンベイの高層ビルがよく見える。岩山を登ったり降りたりして窟を見て回っていると雨が降ってきたので窟で雨宿りする。次に MANDAPESVAR へ行く。町の中の学校の裏にぽつんとあり、前は空き地で皆でクリケットをやっていた。風化がひどく保存状態は悪い。ターンタヴァは残っている。現地ガイドのスマーダに KONDIVTE へ行きたいと言ったら往復5時間かかると言われた。本によると30kmなのでそんな遠くないと思ったがあきらめる。次の JOGESVARI は小さな公園になっており、大きな岩を囲むように西側に3つ、東側に10窟があるがほとんど何もない。その中で一つだけストゥーパの様なものを囲っているチャイティヤ窟があった。なんとここが行きたかった KONDIVTE でスマーダが間違えたのであった。皆で大笑い。今度は本当の JOGESVARI へ行く。町の中にあり車を降りて路地裏の細い道を入っていくと階段が現れ寺院の入り口がある。保存状態が悪く、ドアーフレームの彫刻もほとんど解らない。中に入るととても広いホールになっており、列柱で囲まれた聖室がある。生きている寺院で昔はとても立派な格式を持った石窟寺院であったと思われる。私たちが入ってきたのは裏側で、正面には側室があり青空のオープンホールがあり、さらに階段がある。正面の方は彫刻が残っている。本尊は JOGESVARI という地元の女神でカーリーの化身と言われている。ボンベイの町は大渋滞で3時を過ぎてしまったのでお昼はスマーダのおすすめチキンビリヤニの店に行く。店はとても混んでいたがさすがにビリヤニは絶品であった。最後に PRINCE OF WALES へ行くが閉館まで30分しかないので急いで見学する。今夜宿泊する HOTEL APOLLO はタージグループのタージ氏がインド人であるために入館できなかったホテルで、古いコロニアルなホテルであると思って予約したらなんとリニューアルして近代的なビジネスホテルになっていて驚いた。しかも完全には工事が終わっていない。部屋はとてもモダンでバスタブはないが綺麗なシャワーブースが付いている。8時にモヒと待ち合わせて夕食を食べに行く。ここはインド門のすぐそばで散歩しながらお土産のケッチャップ（インドのケチャップは最高）を買う。タージマハルへ行くが民芸品はない。近くのと

てもモダンな中華料理屋で鳥の手羽、エビのすり身をトーストにのせたもの、水餃子、焼き餃子、野菜炒め、酢豚、チャーハンを食べる。とても美味しく付け合わせのキムチと大根の漬け物もおいしい。(とても暑い日ニバホット ガルミ)

## 5月4日

6時起床、7時にレストランがまだ出来上がっていないのでルームサービスで、マンゴージュース、マサラオムレツ、トースト、コーヒー、7時10分出発。市内から3車線の高速道路で2時間半かかりBHAJAへ行く。昨日車の中で私がインド料理を作るとスミータに話して作り方を説明したら感激して明日うちの母のガラムマサラを持ってくると言っていた。そして瓶に入れて持ってきた。感激。途中チャイを飲むがとても暑い。BHAJAは最後にしてまずBEDSAから見学する。この辺りは砂漠の様で緑はあまりなく、岩山が所々にある。そしてその岩山の中腹や頂上に窟が彫られている。従って木陰など全くない岩山を直射日光にあたりながら登る。まず赤土の道を歩いて階段まで行き400段以上ある階段を登る。とても辛い。しかし石窟まで登るととても気持ちのよい風が吹いてくる。素晴らしい石窟で特に柱の上の彫刻が良い。下から写真を撮っていたらウォッチマンが岩の上に上がって撮れと言うので上がって写す。次にKARLIへ行く。ここも山頂にあるので気合いを入れて登る。山頂には地元の女神を祀る人気の寺院があるので、階段の両脇には薬草や蜂蜜を売る露店も出ている。素晴らしいチャイティヤ窟であるで教会のようである。入り口の男女像も素晴らしい。疲れを忘れる。女神寺院へ行きお賽銭をあげて、ティカを付けてもらう。最後のBHAJAへ行く。もう階段を見るのも嫌だが登る。温度計は42度を指している。何とか頂上へ着くと子供が7~8人遊んでいた。チャイティヤ窟の他にストゥーパが沢山ある窟がある。さらにその奥に素晴らしい彫刻のある窟がある。インドラとスーリヤ、ドゥパラパー等などの彫刻はとても古いが保存状態がとても良い。妻が子供達にミルキーをあげる。子供が妻の履いているズボンを見てハリクリシュナ・ハリラーマと歌って踊りだす(妻のズボンにはクリシュナのプリントとヒンドゥー語でハリクリシュナ・ハリラーマと書いてある)。私たちも歌って踊る。私はハリラーヴァナと歌う。お昼はLONAVLAと言う町でターリーを食べる。ベジ食堂でチャパティの代わりにロティを食べる。最後の方に大盛りターメリックライスが出てきた。我々はロティを沢山食べたのであまり食べられなかつたが、スミータはロティ一枚しか食

べないので小食なのかと思っていたら、なんと一人でターメリックライスを完食した。この町はチッキと言うお菓子が全国的に有名で早速皆で買いに行く。モヒトが買ったストロベリーチッキを開けて食べる。餅みたいでナッツや香料が入っていてスプーンですくって食べる。結構美味しい。さあこれからムンバイに戻る時大変な事態になった。なんと冷房が壊れた。これから冷房なしでムンバイに戻る。暑くて窓を開けて走るので髪はばさばさ、喉が渴く。スマーダが水を飲みたいと言うのでポットを渡したら3杯も飲んだ。全員水が無くなりお店もない。パニ、パニ（水）の大合唱になりやっと冷たいミネラルウォーターを売っている店があり、ほっとした。何とかムンバイに着きまだ時間があるのでサガデパートに行ってもらう。天国のように涼しい。とても高級なデパートで頭はバサバサ、汗だらけで、真っ黒いサンダルでは恥ずかしいが観光客と言うことで許してもらう。同じ様な状況でタージマハルのオールドウイングにチェックインした時もとても恥ずかしかった。まわりはスーツのビジネスマンである。ヴィシュヌの化身マツヤがあったので420ドルで買う。いつもデリーのサガデパートで買うと言ったらカシミールティーとミネラルウォーターを出してくれた。カードをホテルに置いてきたと言ったらホテルまで行くのでそこでサインすれば良いとのこと。冷房なしの車でホテルに戻ると既にサガの人気が来ていた。サインして品物をもらう。スマーダは今日が最後なので妻が髪留めをプレゼントしたらとても喜んでいた。ガイドとしてはまだまだであるが素朴でとても良い子である。9時にモヒトと待ち合わせをしてぼろぼろのマジェスティックホテルのレストランへ行く。とても混んでいて美味しいそうであるがビールがないので他の店に行く。インドの食堂（高級な）は2階に天井が低く、暗く冷房が効いている部屋があり、たいがいここでアルコールを出す。今回のレストランも2階に行くが、とても暗くメニューが見えないほどである。ドラフトビアとあったので頼むとピッチャーで来た。こここの名物はタンドールなので、チキンと魚を頼んだがやはり絶品であった。チキンはもちろん1羽丸ごとである。その他シークカバブー、ナスのカレー、ナンを食べる。その後インド門のまわりを散歩する。10時なのに子供が多い。アイスクリーム屋でチョコレートアイスクリームを食べてホテルに戻る

5月5日

7時起床、7時30に朝食のルームサービスが来るがなんと一人前しかこない。妻と半分ずつ食べた。今日はエレファンタに行きたかったが時間がないと

のことでアーユルベーダに行く。町の中にありとても小さい。オイルマッサージの後シロダーラして風呂に入りシャワーで頭を洗うがべトべトする。空港の前でオレンジジュースとチャイを飲みモヒトとお別れである。